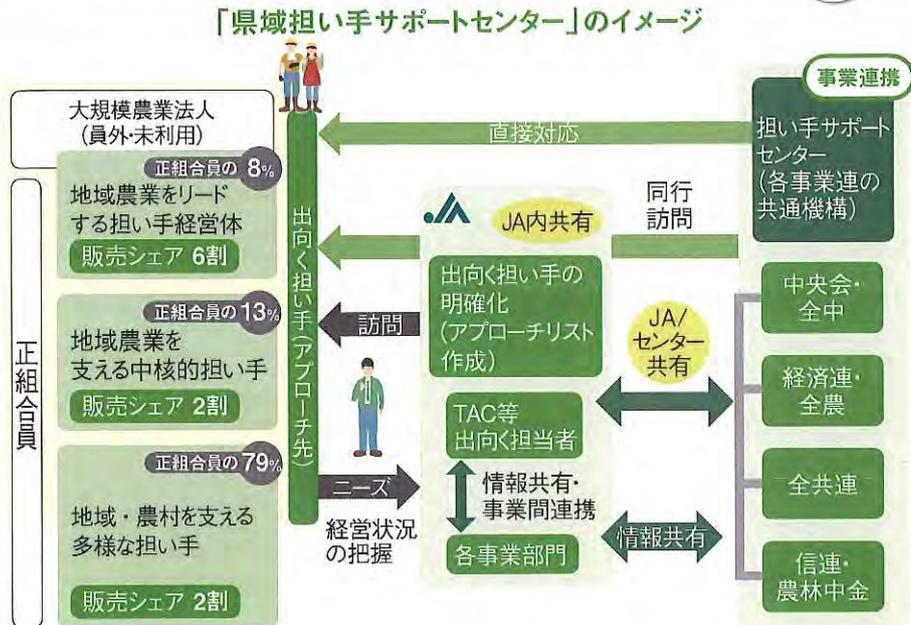




「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

総合力の強みを発揮した担い手経営体のニーズに応える個別対応を強化します (a)

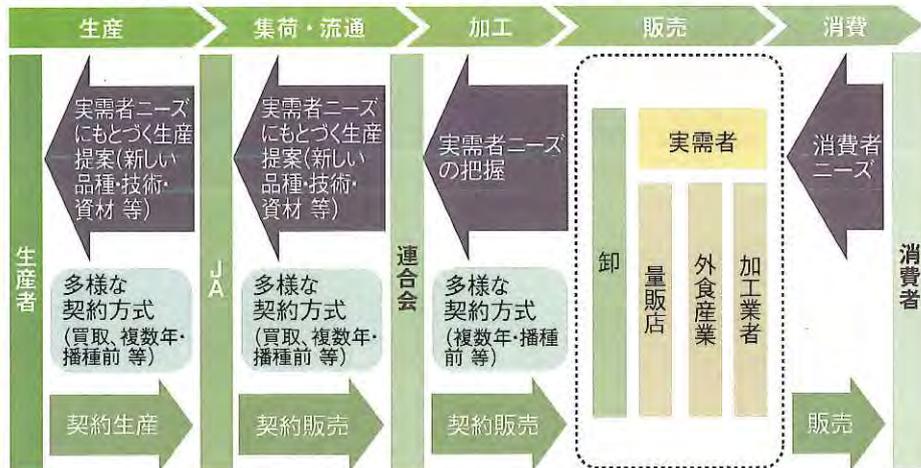
- 正組合員の2割の担い手経営体・中核的担い手で販売シェアの8割を占めていることをふまえ、地域農業を支える担い手に対して、JAグループとして対応を強化する必要があります。
- JAは、担い手専任担当者(TAC、担い手金融リーダー等)の配置・拡充により、出向く体制を整備・充実し、担い手経営体の経営発展を支え、組合員満足度の向上と事業利用の拡大に取り組みます。
- 連合会・中央会は、「地域担い手サポートセンター」を設置し、大規模担い手経営体を対象として、JAとの連携のもと、個別支援・事業提案を強化します。



マーケットインに基づく生産・販売事業方式への転換をすすめます (b)

- 消費者の消費形態の変化、米をはじめとする農産物の販売チャネル多角化や野菜の業務用・加工用需要の増大等の流通・販売環境の変化に対応するため、マーケットインに基づく生産・販売事業方式への転換をすすめます。
- 中食・外食・小売等の実需者ニーズに応じた生産と買取販売や事前契約等の多様な契約方式による販売の拡大、販路別の生産部会の再編・強化等により、担い手の手取りアップを実現します。

生産から販売にかかるバリューチェーン構築(例:米穀事業のイメージ)



付加価値の増大と新たな需要開拓へ積極的に挑戦します (c)

- 人口減少による国内の食料消費の減少が予想されるなか、さらなる農業者の所得増大をはかるため、6次産業化や知的財産等の戦略的活用による付加価値の増大、輸出による新たな需要開拓へ積極的に挑戦します。

6次産業化の拡大

JA・連合会は、担い手やJAと経済団体・商工団体等との連携・会社設立等により6次産業化の拡大をはかります。

輸出の拡大

JA・連合会・中央会は、平成32年までに輸出額を24年度実績(JAグループ38億円)の10倍超を目指して取り組みます。

知的財産等の戦略的活用

JAは、地理的表示制度の活用や商標登録の設定等により高付加価値化と地域ブランド力の強化・保護に取り組みます。